あひるの会

みどりの風

MIDORI NO KAZE

No.55　発行日　27. 12 .10

H.P　http://akaneen.com/

保護者会活動について

保護者会 会長　南部　眞樹子

保護者会の会員は当初約40名でしたが、現在は90名の大所帯になりました。「就労支援」が充実して多数の園生が就職し、園生の入れ替わりも多くなりました。また、保護者の連絡方法も「連絡網」で一人づつ電話連絡をしていたのが、今年からは「メール」が主流となりました。

園生の増加やITの進歩等による変化ですが一抹の寂しさを感じます。

毎月の定例保護者会では、園や友の会からの各種連絡事項や行事の報告、また研修の一環として、県内の施設や就職先企業、グループホームの見学等をしています。最近は家庭の様々な事情で保護者会に出られない方が増えましたが、このような場を通して、子供たちが「地域で暮らす」為の現状の問題や将来を考える機会となり、親同士の交流の場になって欲しいと願っています。

また、開園当初から手芸品の手作りをしてバザーや各イベントで販売する、という活動も続いています。私が平成7年に保護者会に入った頃は5月の「サッポロビールフェスティバル」（平成14年に終了）に参加する事と10月の「あかね園バザー」の開催が大きなイベントでした。4月の定期総会を終えるとすぐに「サッポロ」の準備にかかり、当日は親達も総動員でおにぎりや唐揚げ等のおつまみを作って大賑わいの会場で販売しました。これらの経験が「あかね園バザー」の随所に活かされました。

その後のバザーは「就労者親の会」と共催で「バザー実行委員会」で行うことになり、たくさんの方々のご協力も頂き、より盛大なバザーに成長しました。今後は本館の建て替えという大きな課題もあり、園の利用者がより良い支援を受ける為にも、今まで同様に関係者皆様と協力しながら園を支えていかなければなりませんので、健康長寿を目指して頑張っていきたいと思います。

「就労者親の会」の20年と、これから

就労者親の会 会長　岡崎　幸子

我が子が長く安定して企業の中で働き続けることを願って平成8年、「たんぽぽ会」の名称で会員総数20名で発足しました。当時、園では就職者は39名に達し、OB会（ふれあい会）も平成3年に園のアフターケアとして始まっていました。企業に就職して、親もこれで一安心、という訳にはいかない状況があり、今こそ親の出番ということになりました。活発な保護者会活動を見習い、友の会にも協力しながらバザーや手作りボランティア、勉強会、コンサート等々、積極的に参加するようになりました。あかね園の支援あっての“安心”でしたから‥。

平成19年、名称を「就労者親の会」に変更、その役割を明確にするためです。会員数も84名になり、会の発足からおよそ10年、この間就職者が着々と増えていきました。ところが、就職者が増える一方で離職者も増え、本人を支える“家庭の力”の大切さを痛感し、園に甘えるだけでなく“家庭の役割”が問われているのでは、との思いを強くしました。

平成24年、活動の中心を法人と園を支える「ボランティア活動」と働く子供を支える家庭の役割をテーマに「親の勉強・研修」の2つにしました。

そして今日、会員140名の大きな会になり、法人創設時から綿々と続く“誰かに頼る前にまず親のできることをする”この精神であかね園とより強固に連携して、これからの10年20年を活動していき、子供の“今“と”将来“を見据えて、日々を過ごしていきたいものです。家庭もこれだけのことをしました。社会はこの人たちをどう受け入れてくれますか。そんなふうに言えるようになれば素晴らしいと夢見ています。

保護者会活動

保護者会活動への感謝、そして、これから

保護者会 副会長　原田　章江

あかね園が来年創立30周年を迎えるにあたり祝意を表すとともに、私達ここ数年来に入園した保護者は、あかね園を設立して下さったパイオニアのお母様方及び関係者の皆様に深く感謝申し上げます。お陰様で子供たちは整えられた環境下でよい訓練を受けることができています。

そして、園は障害のある子どもを持つ親の学びの場であり、交流の場でもあります。まず、月一回の保護者会定例会では、園の現状、運営方針、指導方針、そして子供たちの様子を知ることができる貴重な機会となっています。その他に保護者会主催の研修活動として他施設見学会や講演会などを通し、障害者を取り巻く環境の現状把握、将来を考える機会となり、園の理念である「障害があっても地域の中で長く安心して働き、暮らす」の理解に繋がっています。

また、あかね園伝統の保護者によるボランティア活動は、賑やかな交流の場となっています。

曜日ごとの班に分かれ、就労者親の会との共同作業で特色ある手作り品を作っています。出来上がった手芸品は、園、親の会、保護者会共催のバザーで販売するのは勿論のこと、近隣の催し物会場あるいは特別支援学校のお祭り等で販売し、好評を頂いています。会員相互のみならず親の会の方との交流もでき、色々な情報を得ています。

現在、会員の年齢差は広がり考え方も様々ですが、全保護者に共通するのはあかね園の理念に共感し子供を託していることです。そして、園の為に少しでも役に立ちたいという思いも共通です。

今後も園が順調な運営を維持し、職員が心置きなくその手腕を発揮頂くためには、保護者による資金面の支えは不可欠であり、私達はその責務を負っていると考えています。あかね園創設に奔走されたお母様方、設立当初の借金返済に尽力されたお母様方に続き、より一層施設の充実のために皆で力を合わせて励み、更に次の世代へ引き継いでいきたいと思います。

年の

就労者親の会の活動

就労を支えながらの親の会の活動

就労者親の会 副会長　佐藤　淑子

第29回あかね園バザーが秋晴れに恵まれ、来園1,300名を越え、大盛況の中無事終了しました。まだ高揚感残るまま、この原稿を書いております。

現在、就労者親の会は会員140名。バザーや各週の手作りボランティアと年4回の定例会、年1回の研修会を主な内容で活動しております。毎月役員会（役員16名）を開き情報の共有と活動の企画を練っています。

第4代岡崎会長を中心に「就労を支える家庭の力」をテーマに定例会毎、柴田園長や支援センターの先生方から子供達を取り巻く社会状況や情報をお聞きして、話し合いの場を積極的に設け、今年度は「就労と生活の質を充実するには」のテーマで研修しています。子供達の仕事が終わってからの時間や土日祝日の時間をどのように過ごすか、その時間が豊かな時間になるように皆と楽しくする時間も大事なのですが、「自分の一人の時間を活用できる力」が大事ですと支援センターの國島先生はお話されました。

長く就労するには第一に本人の会社のルールを守り、就労する力。働いている企業の力。子供を支える家庭の力。そして、三者をしっかり支えてくれているあかね園に日々感謝しております。松尾副園長は「一人で悩まないで下さい。困ったらいつでも園を頼って下さい」と心強い話をして下さいます。

今、親の会はあかね園と共に子供を支える活動をしております。11月5日に「こころみ学園」を見学、研修に行ってきました。ご参加ありがとうございました。

これからもボランティアと子供達の将来を考えた研修の2本柱で活動していきますのでご参加とご協力をよろしくお願いします。

第29回 あかね園バザー報告

10月4日（日）第29回あかね園バザーが開催されました。今年は好天に恵まれ、早朝よりたくさんのお客様をお待たせしての開園でした。

太鼓の合図とともに広い会場もあっという間に人で埋め尽くされ、各売り場は休む暇もないほどの盛況ぶり。「お客様に楽しんで頂く」をコンセプトに園庭中央に設けた憩いのブースではお買い物の合間にひと休み、お茶やランチをと、ご利用して頂くことができました。

例年を大きく上回るお客様（1,300名）にお越し頂き、近年にない盛り上がりを見せて無事に終了することができました。

近隣の方々や企業様には様々な形でご協力頂き、盛大なバザーができました事を心より感謝申し上げます。なお、収益金につきましては、社会福祉法人「あひるの会」への寄付とさせていただきます。

総売り上げ：3,339,666円
総経費：394,977円　収　益：2,944,689円

バザー実行委員　　高橋　恵子

第29回あかね園バザーにご協力いただきました企業

フジッコ㈱　㈱フレッシュダイナー　㈱ミスターマックス新習志野店　金亀糸業㈱　㈱セキヅカ商事　㈱エスシー　㈱カルタス　㈱東京エコール　船橋興産㈱　ロイヤル㈱　㈱文明堂銀座店　京葉測量㈱　京成バス㈱新都心営業所　㈱ロジスティクス・ネットワーク習志野物流センター　サッポロビール㈱京葉物流センター　勝又自動車㈱コルネット事業部　東京アート㈱第一物流センター　㈱アグレックス　三井食品㈱　㈱ドトールコーヒー　㈱今半船橋工場　㈱新橋玉木屋千葉工場　エフピコ物流㈱　豊茂園　石橋梨園　㈱京樽船橋工場　日新化工㈱　㈱デイリーフーズ京葉センター　ニック食品㈱　㈱美十　ライフフーズ㈱市川センター　イオンフードサプライ㈱　エスフーズ㈱　㈱ニチレイフーズ船橋工場パックセンター　㈱ダックス　㈳京葉食品コンビナート協議会　船橋総合卸商業団地協同組合　小石産業㈱　石上青果㈲　肉の皆川　㈱日経首都圏印刷　㈱市川環境エンジニアリング　㈱テンポスバスターズ幕張店　利根コカコーラボトリング㈱船橋支店　㈱フリジポート　㈱ジェイアイシー　㈱船橋総行　習志野市茜浜第3企業連絡協議会　㈱オランダ家　㈱大地を守る会　㈲E-anbai

（順不同、敬称略）

上記の他に多数の方々にご協力いただきましたが、お名前は割愛させていただきます。

第26回 友の会コンサート

去る11月27日、第26回友の会コンサートは皆様の暖かいご支援をたくさん頂き、盛況のうちに終了することができました。感謝の念でいっぱいです。ありがとうございました。毎回クラシックを中心としてきた私どもにとって、今回はチャレンジでもありました。「音」の違う和の三味線とクラシックでの舞台設定の難しさがありましたが、出演者はじめ周りの方々のご協力を得、良い形で幕を開けることができました。ロビーはいつも通り、お客様の華やかで和やかな談笑に満ち、お買い物も楽しんで頂けたことと思います。チケット売上も予定枚数を超えることができました。友の会は今後も、法人を支える為の役割を果たすべく努めてまいります。地域の皆様のご支援、今後共どうぞよろしくおねがい申し上げます。

クラシックの調べ

津軽三味線

「友の会」へのご入会をお願いいたします。

一般会員（年間一口　3,000円）　法人会員（年間一口　10,000円）
郵便振替　00110-0-354445
銀行振込　千葉興業銀行　津田沼支店 普−4771251
口座名：社会福祉法人　あひるの会友の会　代表　国松実枝子
入会申込み、問合せは事務局まで
Tel 047-452-2715　Fax 047-452-2693

編　集　後　記

バザーからコンサートまで瞬く間に過ぎていったこの2か月。この55号の発送をもって友の会の年内の活動もようやく、ひと段落です。本年も皆様、色々とお世話になりました。来年もあひるの会友の会を何卒宜しくお願い致します。

編集人　あひるの会友の会代表　国松実枝子
発行所　社会福祉法人　あひるの会「友の会」
〒275-0024 習志野市茜浜3丁目4番5号